



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第60回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥ことお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第60回全国研究発表大会が2018年5月26日(土)、27日(日)に横浜商科大学つるみキャンパス(神奈川県横浜市)にて開催されます。つるみキャンパスは、横浜市鶴見区にあり、最寄りの鉄道駅は、京浜急行の生麦駅、またはJR横浜線の大口駅です。多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：2018年5月26日(土)～27日(日)

開催場所：横浜商科大学つるみキャンパス

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

交通アクセス <http://www.shodai.ac.jp/access/>

連絡先：実行委員長 柳田 義継(横浜商科大学)

E-Mail : jams60@yanagida-lab.com

主催：日本経営システム学会

統一論題：「クラウドによる連携と経営システム」

基調講演：株式会社テクニカル・ユニオン 社長 戸倉 正貴 氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円、(当日支払は各 1,000 円高)

懇親会費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員 5,000 円、非会員 6,000 円(当日支払各 1,000 円高)

昼食：大学内の食堂・コンビニは26日、27日共に閉店です。生麦駅から大学までの徒歩(約15分)途上にコンビニエンスストアがあります。

宿泊：横浜駅(電車15分)周辺にホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail: keieisys@jams-web.jp へ、3月30日(金)までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax 03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、4月20日(金)まで(厳守)、学会事務局宛又は第60回大会発表原稿入稿フォームから御投稿ください。

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙、または HP の振込み方法を参考にして5月18日(金)までに上記金額をお振込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■会場設備について

全ての発表会場に PC(Windows, MS-Office)とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用下さい。データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり準備に時間がかかりますので、ご注意ください。

■大会会場へのアクセス

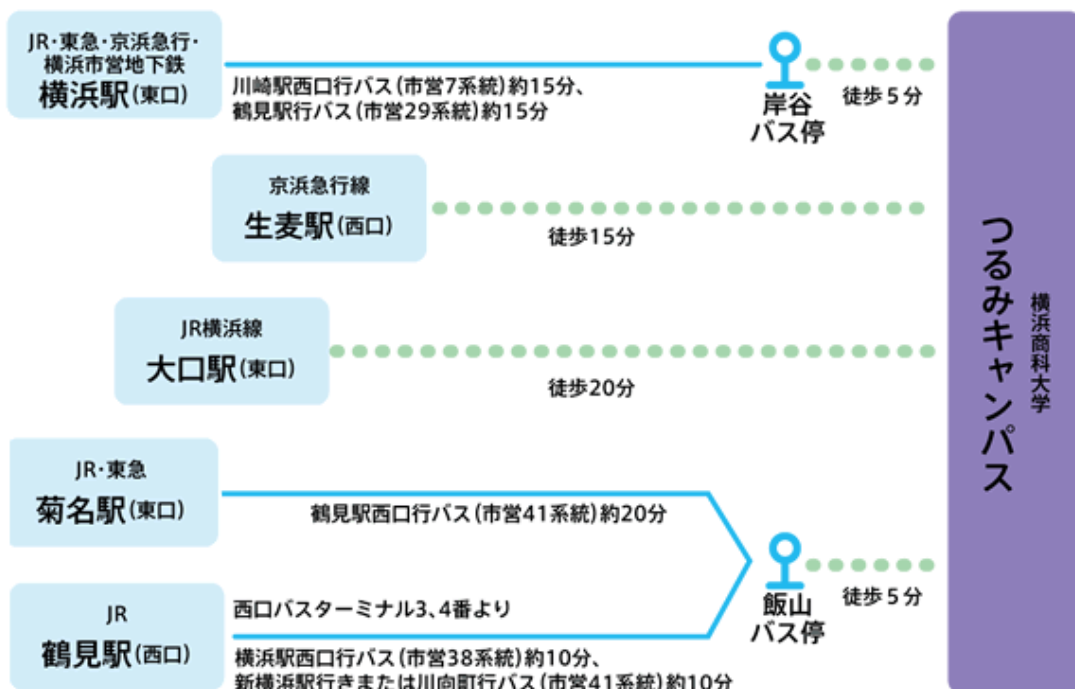
- ・京浜急行線「生麦駅」下車、徒歩 15 分
- ・JR 横浜線「大口駅」下車、徒歩 20 分
- ・JR 線、東急東横線、京浜急行線、横浜市営地下鉄線「横浜駅」下車、横浜駅東口バスターミナル 15 番より、川崎駅西口行バス（市営 7 系統）、鶴見駅行バス（市営 29 系統）で岸谷バス停下車、徒歩 5 分
- ・JR 横浜線、東急東横線「菊名駅」下車、鶴見駅西口行バス（市営 41 系統）で飯山バス停下車、徒歩 5 分
- ・JR 京浜東北線「鶴見駅」下車、西口バスターミナル 3、4 番より、横浜駅西口行バス（市営 38 系統）、新横浜駅行、または川向町行バス（市営 41 系統）で飯山バス停下車、徒歩 5 分

※詳しくは、下記ページをご覧ください。

交通アクセス <http://www.shodai.ac.jp/access/>

※自動車利用：学外の方にご提供できるスペースがございませんので、ご遠慮下さい。

つるみキャンパス ルート案内



■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい(もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい)。

- ・学生セッションの発表は、正会員（一般的には指導教員）との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とします。

■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「学会発表に関する原則」（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

第 59 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 野村 淳一

日本経営システム学会の第 59 回全国研究発表大会が、2017 年 10 月 28 日（土）～30 日（月）、統一論題「第 4 次産業革命における経営システムの役割」のもとに、星城大学（愛知県東海市）で開催されました。基調講演は、「ドコモの IoT 最新動向紹介」と題して、株式会社 NTT ドコモ 法人ビジネス本部 IoT ビジネス部ソリューション営業推進担当部長の仲田正一氏にご講演をいただきました。台風 22 号の影響による悪天候にも関わらず、大勢の方にご参加いただき、大会実行委員会として感謝いたします。

統一論題で 3 件、研究部会で 10 件（うち学生発表 1 件）、自由論題で 61 件（うち学生発表 38 件）の合計 74 件の研究発表、チュートリアルセッション（ERP を利用した大学教育）がなされました。また、同時開催された国際会議 ICBI2017 とは相互聴講可能とし、懇親会も合同としました。基調講演者、学生スタッフ（16 名）を除き、大会の実参加者は 122 名、懇親会参加者（国内大会）は 42 名でした。最後に、今回の大会開催にご尽力いただいた、多くの会員の皆様、理事・評議員の皆様、発表者・司会者の皆様、学会事務局に、そして施設利用、大会準備支援をいただいた星城大学に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。当日は、会場案内の不備や機材トラブルなどご迷惑をお掛けいたしましたがおかげさまで無事終了できました。

JAMS 学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 川中 孝章

第 59 回全国研究発表大会（於：星城大学）終了後、表彰委員会を開催し、慎重に表彰候補者を選考致しました。その後、理事会の審議を経て下記 2 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたので報告致します。

1. 「日本企業と韓国企業におけるセミオープンイノベーションに関する比較研究」

細田 孝峻（東北大学）

2. 「人事評価への AI 普及に対する人間の意思決定要因に関する研究」

本嶋 武朗（芝浦工業大学）

2017 年度第 2 回理事会のまとめ

I. 開催日時：2017 年 9 月 8 日（金） 15:00～18:00

II. 開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1 号館 3 階 会議室

III. 出席者：塩出、椎原（Skype）、松岡、川中、東海、永松、成川、西口、金子、田畑、原田、毛利、柳田、若尾（監事）小田、松丸（オブザーバー）野村（事務局）小島 敬称略

IV. 審議事項

1. 2017 年度第 1 回議事録の確認（西口）：2017 年度第 1 回理事会議事録が報告され、原案の通り承認された。

2. 会員の入退会について（西口）：入退会の状況について説明がなされた。この際、No.1321 中川優輝氏が正会員登録されていたが、学生会員が正しく、その変更とともに入退会者リストが承認された。これにより、2017 年 9 月 8 日現在、正会員 513 名、学生会員 135 名となった。

3. 電子メールによる審議の件（西口）：電子メール審議において、期日までになかなか回答がなされないため、期日の延長を認めることが承認された。なお、メール審議のあり方等に関しては、今後再検討を行うこととなった。

4. 役員の定員について（毛利）：役員の定員のあり方については、会則・規程は変えずに、再募集のアナウンス等で対策することが承認された。

5. シニア会員について（小田）：シニア会員の設定等に関しては、組織委員会で継続審議されることが承認された。
6. 第 59 回全国研究発表大会の準備状況について（野村）：準備状況についての説明がなされた。この際、司会が未確定のセッションに対して理事を中心に司会協力の依頼がなされた。また、当日の委員会開催に対する連絡（日時・人数）の要請がなされた。
7. ICBI 発表件数と IJAMS への投稿について（柳田）：ICBI2017 に関する説明がなされた。この際、ICBI2017 へ参加費を支払った場合は JAMS 第 59 回全国研究発表大会への参加を認める（逆は不可）ことが承認された。また、IJAMS への誘導はとくに行わないことが確認された。
8. 第 60 回・61 回全国研究発表大会の準備状況について（永松）：第 60 回・61 回全国研究発表大会の準備状況の説明がなされた。また、第 61 回大会実行委員長である丸山宏氏を大会委員会副委員長に任ずることが承認された。
9. 研究部会の規定について（椎原）：研究部会の運営を柔軟にするために、現在の研究部会内規をもとにして研究部会細則に改定したい。新しい細則の案は、配付資料 I-9 の通りであり支部細則と体裁をあわせたい。意見がある場合には、椎原氏まで連絡することとし、継続審議となった。
10. 外部委員について（塩出）：日本経済学会連合評議員には塩出省吾氏・山下洋史氏が、横断型基幹科学技術研究団体連合代議員には板倉宏昭氏・松丸正延氏が、経営関連学会協議会評議委員には柳田義継氏・村山賢哉氏が就任することが承認された。

11. その他

V. 報告事項

1. 第 58 回全国研究発表大会の報告（若尾）：第 58 回全国研究発表大会についての報告がなされた。また、大会収支に関して承認された。
2. 第 58 回全国研究発表大会の学生研究発表優秀賞について（川中）：第 58 回全国研究発表大会の学生研究発表優秀賞について、電子メール審議を経て決定されたことについて報告がなされた。また、賞についての HP への掲載は、個人情報の関連もあり、広報委員会が今後審議し、表彰委員会はそれに従うことが承認された。
3. 他学会への協賛について（西口）：他学会への協賛の状況について説明がなされ、承認された。
4. その他

経営ネットワーク研究部会のお知らせ

開催日時：2018年3月10日（土） 14:00-17:00

開催場所：横浜市立大学金沢八景キャンパス 文科研究棟5階 小会議室
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

[交通アクセス] 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分

http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei_campusmap.html

プログラム：

14:00-15:30 研究発表

「破壊的イノベーション理論を解剖する：将来予測は可能か」

三藤利雄（立命館大学）

15:30-17:00 研究発表

「働き方改革とテレワーク」

小豆川裕子（常葉大学）

17:30 懇親会

参加申込：どなたでも参加できます。

【お願い】事前に参加申込をお願いいたします。

2018年3月7日（水）までに、担当の柳田（jams-mn@yanagida-lab.com）まで、メールにてお申し込みください。その際、氏名・懇親会参加の有無・メールアドレスをご連絡下さい。

※事前申込がない場合でもご参加頂けますが、会場・資料の準備、懇親会の予約等のため、できる限り事前にお申し込み下さいますよう、お願いいたします。懇親会は定員に達しましたら、受付を終了する場合がございます。

参加費：無料

懇親会：実費

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日時：2018年3月17日（土） 14:00-16:30

発表予定者：山下洋史（明治大学）：「一因子情報路のサンプル・サイズに関する研究」

山下洋史（明治大学）：「HR 研究部会における一連の評価分析モデル」

渡辺慎之介（日本大学）・水上祐治（日本大学）：「テキストマイニングによる論文要旨分析に関する一考察（仮）」

権善喜（明治大学）・山下洋史（明治大学）：「HR 研究部会における一連の「体感温度」研究」

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

連絡先（幹事）：金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日時：2018年4月21日（土） 15:00-17:00

発表予定者：水上祐治（日本大学）：「ソフトウェア開発における早期すり合わせの効果 に関する一考察」

若松諒太（神奈川大学）・片桐英樹（神奈川大学）：「非接触検査における機械学習を用いたガラス基板の欠陥検出」

開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1号館 3F 1308 教室

連絡先：田畑 智章（東海大学） Tel.03-3441-1171 E-Mail:tabata@tokai-u.jp

金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

入会者リスト

(2017.9.9~2017.10.28)

1. 正会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
中川 優輝	明治大学	政本 隆志	沖電気工業(株)
北村 森	サイバー大学	斯波 明宏	三井住友建設(株)

2. 学生会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
于 霜霜	愛知工業大学大学院	三辻 善作	芝浦工業大学大学院
神長 絵美香	芝浦工業大学大学院	吉田 貴洋	芝浦工業大学大学院
福田 純也	東海大学	BUKHARY HUSAM	東海大学
増田 智香	大阪大学大学院	AMANALLAH M	

学会メーリングリストへの登録のお願いと整備のご案内

日本経営システム学会では、各種連絡に電子メールを用いております。連絡先メールアドレスに変更があった場合は、学会事務局 keisys@jams-web.jp へお知らせ下さい。また、全国研究大会、研究部会の案内等を会員用メーリングリスト jams-ml@jams-web.jp によりさせていただいております。メーリングリストからのご案内が届いていない等のお問い合わせ、メールアドレス変更、配信停止等、何かありましたら mimai@sozo.ac.jp へお知らせ下さい。なお、広報委員会では、2018年度中にメーリングリストの整備を予定しております。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

日本経営システム学会 研究発表申込書

2018年度 第60回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ()	2. ()
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ()

発表要旨 (200字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					

注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。

2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)

3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
 E-Mail: keieisys@jams-web.jp